

## 唐津神社（1/2）

～松浦党神田氏の守り神～

もと県社、一の宮に表筒男命（うわつつおのみこと）、中筒男命（なかつつお）、底筒男命（そこつつお）のいわゆる住吉三神、二の宮に神田五郎宗次を祭るといふ。

唐津市城内西明神小路にあり、大手口に近く唐津市のほぼ中央に位置し、氏子戸数はおよそ1,500戸（平成22年9月調）をかぞえ、現在では市内はもちろん当地方第一の有力な神社である。毎年11月3日の秋祭（昭和43年以前は旧暦の9月にあたる10月29日、30日）には西の浜まで御神幸があり、それに14台の山笠が随行して翌4日まで3日間にわたる唐津くんちの賑わいがあり、1年に1度の重要な行楽行事ともなっているため、名実ともに唐津の代表的な神社であり、御神徳は氏子の地域をはるかに越えて広範な地域におよんでいる。

この神社の起源および祭神については古来若干の異説がある。さきにあげた神社誌要（大正15年刊行）は要約すれば、神功皇后が凱施ののち鏡を捧げて一宮の祭神たる三神を祭られた。これが当社の創始であるがそのご衰えた。孝謙天皇の御宇地頭神田宗次が霊夢によって海上に一宝鏡を得、これが皇后の捧げられたものであろうと奏上し、勅によって唐津大明神の号を賜った。天平勝宝7年9月29日であった。のち文治2年神田広の代に社殿を改築し、祖先宗次の霊をも合祀したとある。また、他にもいくつかの異説はあるが省略する。

古代は唐津湾がずっと深く入り込み、現在市街地を形成している一帯の土地は湾内に突出した砂州であった、中世以後神田氏が神田字西浦に根拠地を構えて松浦党の一豪族として活躍をはじめた頃、この湾を出入りするたびごとに眺めてとおる砂州の上に守護神を勧請したのであろう。松浦党一般の例ごとく、神田氏の活躍の舞台も海上を主としたので、この守護神はまず海上守護の神でなければならない。すると当然この地方に力強く伝えられている神功皇后の伝説が取上げられ、皇后の御軍を守護されたという底筒男などいわゆる住吉の三神をいつきまつることにしたと考えられる。同時にまたそこには神田氏の祖神がまつられたであろう。神田五郎宗次というのは、こうして祭られた神田氏の祖神で、歴史上の人物というよりも神田氏によって作られた神話上の存在なのであろう。唐津神社が神田氏の祖神としての性格を強くもっていたことは、神田氏が神田の土地にいなくなってしまう今日でもなお毎年の御神幸に神輿をかつぎ神宝を奉持するものが、かならず神田の土地の住民でなければならぬ慣習によっても想定できると思う。さらにまた上記のような守護神が祭られる場合、当時は神仏習合説にしたがって神の本地仏が祭られるのは当然のことであった。

～2/2へつづく～

分野 歴史

地域 唐津

◎地図・写真・統計資料など



唐津神社。唐津城築城以前は、この周辺は海に面した砂州であった。

（『唐津探訪』より）

◎引用・参考文献（出典）

- ◆『日本の神々』：神社と聖地／九州 谷川健一編 発行白水社
- ◆『佐賀県神社誌要』：発行 佐賀県神職会
- ◆『唐津市史』：唐津市

◎もっと詳しく知りたい方は

唐津市近代図書館へ  
お問い合わせください。

■電話：0955-72-3467

■ホームページ：  
[http://tosyokan.karatsu-city.jp/hp/cnts\\_lib/index.html](http://tosyokan.karatsu-city.jp/hp/cnts_lib/index.html)

<p style="text-align: center;"><b>唐津神社（2/2）</b> ～松浦党神田氏の守り神～</p>	分野	歴史
	地域	唐津
<p>～1/2からつづく～</p> <p>唐津神社にも本地堂があり、十一面観音は祭られてきた。だが、明治初年に政府が発した神仏分離令により本地仏十一面観音は唐津神社本地堂から唐津城西側麓の小さなお堂で祭られた。ここに移されてからは朽損が更に進み、昭和50年に解体修理がおこなわれた。この作業からは胎内銘の発見という唐津神社の歴史を解明する貴重な資料を入手することとなった。それは、本像が建徳2年（1370）に仏師運慶の流れをくむ湛勝・湛秀というすぐれた仏師によりつくられたこと。本地仏十一面観音をつくるための発願者は唐津地方の豪族と思われる幸阿や尼の明恵、五藤太郎、藤三郎、兵藤九郎で、勧進金品の募集に当たったのが聖沙門明観と宮師の幸秀である。</p> <p>特に「建徳2年」という本地仏の造立の年は、唐津神社が創始されたのが中世南北朝時代、おそらくは建徳2年（1371）をさかのぼることあまり遠からぬ時代と推定してよいのではあるまいか。</p>	◎地図・写真・統計資料など	
	◎引用・参考文献（出典）	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆『日本の神々』：神社と聖地／九州 谷川健一編 発行白水社</li> <li>◆『佐賀県神社誌要』：発行 佐賀県神職会</li> <li>◆『唐津市史』：唐津市</li> </ul>	
	<p style="text-align: center;">◎もっと詳しく知りたい方は</p> <p style="text-align: center;"><u>唐津市近代図書館へ</u> お問い合わせください。</p> <p>■電話：0955-72-3467</p> <p>■ホームページ： <a href="http://tosyokan.karatsu-city.jp/hp/cnts_lib/index.html">http://tosyokan.karatsu-city.jp/hp/cnts_lib/index.html</a></p>	